

白井市議会 令和2年第3回臨時会

令和2年5月16日（土）

本日は、令和2年第3回白井市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、休日にもかかわらず、ご出席を賜り心からお礼申し上げます。

また、休日議会は、白井市議会にとりまして初めての取り組みとなりますが、早急な臨時議会の招集についてご理解いただき、重ねてお礼申し上げます。

まずはじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々とそのご家族に対し、深く哀悼の意を表します。

罹患されている方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

また、医療の最前線で新型コロナウイルスに立ち向かう医師や看護師をはじめとする医療従事者の皆様には、心から敬意と感謝を申し上げます。

それでは、本日提案いたしました議案の提案理由及び概要について御説明いたします。

議案第1号 令和2年度白井市一般会計補正予算（第3号）については、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,229万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億6,549万7千円とするものです。

提案理由とあわせて、白井市の新型コロナウイルス感染症に対する支援策のこれまでの経緯と今後について申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を盛り込んだ、「国の令和2年度補正予算（第1号）」が、4月30日成立いたしました。

市は、スピード感を持って対応するため、国の補正予算成立に先立って、4月24日、第2回臨時議会を招集し、「第1弾の支援策」といたしまして、国の交付金を活用し、

- ・市民1人当たり10万円を給付する「特別定額給付金」を、
- ・児童手当の対象となる子ども1人当たり1万円を給付する「子育て世帯への臨時特別給付金」を、
- ・離職などにより経済的に困窮して住居を失い、又は失うおそれがある方に家賃相当額を支給する「生活困窮者住居確保給付金」を予算化し、現在、給付を行っているところ  
です。

「第2弾の市の独自支援策」といたしまして、本日5月16日、第3回臨時議会を招集し、国の「地方創生臨時交付金」を活用し、

- ・18歳までの子ども1人当たり1万円を給付する「子育て世帯応援給付金」を、
- ・児童扶養手当受給世帯の子ども1人当たり3万円を給付する「ひとり親家庭等応援給付金」を、
- ・千葉県中小企業再建支援金に上乘せして、厳しい経営状況にある事業者に10万円を給付する「中小企業経営支援金」を、
- ・医療機関等に対し感染拡大防止のため、マスク等を配布する「マスク等配布事業」を提案するものでございます。

「第3弾の市の独自支援策」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止等となった事業予算、いわゆる「市単独費を活用」し、第1弾、第2弾の支援策を勘案しながら、今後、実施していく予定でございます。

以上、白井市の新型コロナウイルス感染症に対する支援策のこれまでの経緯と今後について申し上げましたが、本日提案いたしました「令和2年度白井市一般会計補正予算（第3号）」につきましては、第1弾の国の支援策に引き続き、第2弾の市独自の支援策として位置付け、感染拡大の影響を受けている特に子育て世帯の生活や地域経済を支援するため、提案するものでございます。